

898

近畿文化

2024・9月

© 発行 近畿文化会事務局 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目5番13号 上本町YUFURA 7階 TEL 06-6775-3686
編集・発行人 中野尚彦 令和6年9月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 300円 無断転載・転用禁止



右脇侍立像

仁和寺 右京区御室大内御室桜で知られる仁和寺は、真言宗御室派の総本山である。仁和二年（八八



仁和寺 霊宝館 阿弥陀三尊像 写真提供 仁和寺
阿弥陀如来坐像

禅宗の名刹が建ち並んでいるが、今回は真言宗の仁和寺や大報恩寺、陰陽道の信仰からはじまった大將軍八神社などをめぐり、祀られている神仏の彫像について学ぶことにしたい。

仁和寺

右京区御室大内

御室桜で知ら

れる仁和寺は、

真言宗御室派の

総本山である。

仁和二年（八八



左脇侍立像

はじめに

京都市内の北西部には、妙心寺、龍安寺、等持院、鹿苑寺（金閣寺）など

禅宗の名刹が建

ち並んでいる

が、今回は真言

宗の仁和寺や大

報恩寺、陰陽

道の信仰からは

じまった大將軍

八神社などをめ

ぐり、祀られて

いる神仏の彫像

について学ぶこ

とにしたい。

米屋

優

仁和寺・大將軍八神社・大報恩寺の神仏像

六）光孝天皇の勅願により西山御願寺としてこの地で建設がはじまったが、

翌年天皇が崩御すると宇多天皇がその

遺志を継ぎ、仁和四年（八八八）に光

孝天皇の一周忌に供養が行われ、年号

を採って仁和寺とされた。当初は天台

宗の台密系寺院であったが、昌泰二年

（八九九）退位後の宇多天皇がこの寺

で出家され、東寺長者益信より戒を受

け、延喜四年（九〇四）に仁和寺の一

角に住房を建てて住まれた。僧房を

「室」と呼び、法皇の「室」故に「御

室」と呼ばれるようになった。以後、

歴代の門主となった入道親王や法親王

自身も「御室」と呼ばれた。宇多法皇

は仁和寺御室の第一世に数えられ、明

治維新まで宮門跡寺院として高い格式

を伝えてきた。また、宇多法皇入寺後

は真言宗の東密系となり、醍醐寺（伏

見区醍醐東大路町）を中心とする小野

流と並んで、真言宗の二大法流の一つ

である広沢流の中心寺院となる。

しかし、平安時代中期以降しばしば

火災に遭い、特に応仁の乱では、西軍

が陣を敷いたため東軍によって火を放

たれ、一山のほとんどが焼亡した。仁

和寺の本坊は双ヶ丘西麓にあった真光

院に移され、再興のときを待つことに

なる。再興が本格化するの寛永年間

（一六二四～四四）第二世覚深入道

親王（後水尾天皇の兄）のときで、三

代將軍徳川家光の力を得て、折しも御

所の寛永度造営に伴い、慶長度造営の